

「読解リテラシー」のプロセスを 意識した単元展開の工夫

～単元「六年生にメッセージを送ろう」に
おける『走れメロス』の活用を通して～

茨城県 つくば市立高山中学校 教諭 前嶋 洋子

1 はじめに

本校生徒に身に付けさせたい力

情報を理解して解釈したり, 自分の知識や体験と関連付けて考えたりする資質
や能力

本校生徒の実態

「読むこと」の学習に対して受け身



主体的な読みに向かわせるために

読む目的を明確にする

読んだことを生かして自分の考えを表現

実生活で直面する課題において活用

学習プロセス

「読解リテラシー」

「自らの目標を達成し，自らの知識と可能性を発達させ，効果的に社会に参加するために，書かれたテキストを理解し，利用し，熟考し，これに取り組む能力」



目的意識をもって主体的に読むこと

読んだことに対する自分の考えを表現すること

2 「読解リテラシー」のプロセス

情報へのアクセス・取り出し
テキストに書かれていることを
理解して捉える

読解に必要な情報を取り出し、ストーリーやプロット、登場人物について自分の言葉で説明したり、表現したりすること

統合・解釈

テキストの内容や筆者の意図
などを解釈する

筆者の意図、登場人物の思考や行動などについて推論し、自分の意見として表現すること

熟考・評価

テキストの内容や表現などを
吟味・検討したり、自分の考え
をまとめたりする

自分の考えや体験と結び付け、文章や登場人物を評価・批判し、自分の意見として表現すること

建設的な話し合いによって学習課題を解決しながら、自分の考えを深めていくこと

3 単元のねらいと言語活動

ねらい

目的意識をもって主体的に読み，読んだことに対する自分の考えを表現したり，自分の知識や体験と関連付けて考えたりする

先輩として六年生にメッセージを伝えたい

でも，どんなメッセージがいいのだろう

中学校課程進級説明会



六年生へのメッセージ

定れメロス

中学校での様々な困難

解決することによる成長

自分の体験と関連付ける

情報へのアクセス・取り出し

あらすじ・登場人物など

中学校課程進級説明会

相手意識・目的意識
「六年生にメッセージを送ろう」
題材名『走れメロス』

この人物についてもっと考えたい

スピンオフ作品

この場面について違う視点で考えたい

統合・解釈

自分の考えを表現

主体的な読み

意見交流会

熟考・評価

中学校生活や自分を振り返る

六年生へのメッセージ

体験と関連付けた自分の考え

4 単元の指導計画（中学校2年）

次	時	主な学習活動	「読解リテラシー」との関連 ★文学作品においての力
第一次	1	・学習の流れを知る。	【情報へのアクセス・取り出し】「テキストに書かれていることを捉えて理解する。」 ★あらすじや登場人物について自分の言葉で説明することができる。
	2	・通読し、初発の感想を書く。	
	3	・あらすじや登場人物について友だちと説明し合う。	【統合・解釈】「テキストの内容や筆者の意図などを解釈する。」 ★作者の意図、登場人物の思考や行動などについて推論し、自分の意見として表現することができる。
	4	・スピンオフ作品の書き方を確認し、自分の考えをもとに構想を練る。	
	5	・スピンオフ作品を書く。	【熟考・評価】「テキストの内容や表現などを吟味・検討したり、自分の考えをまとめたりする。」 ★自分の考えや体験と結び付け、文章や登場人物を評価し、自分の意見として表現することができる。 ★話し合いによって学習課題を解決しながら自分の考えを深め、まとめることができる。
	6	・スピンオフ作品を見直す。	
	7 本時	・スピンオフ作品をもとに意見交流する。 ・自分の中学校生活と比べながら登場人物について評価したり、原作の主題を考えたりして、六年生へのメッセージ作成の見通しをもつ。	
	8	・六年生に伝えたいメッセージを考える。	
第二次	1	・六年生に送りたいメッセージをまとめる。	
	2	・六年生にメッセージを送る。	
	3	・学習を振り返る。	

5 本時の指導

学習活動

1 学習課題を確認する。

意見交流会を通して、六年生へのメッセージ作成のヒントを見つけよう。

2 自分のスピンオフ作品について構想や考えを見直し、意見交流の準備をする。

- (1) 人物像をどのように捉えたか。
- (2) なぜ、そのような物語展開にしたのか。
- (3) 共感できる部分や共感できない部分はどこか。
- (4) 読む人に伝えたいメッセージは何か。

3 グループ内意見交流を行う。

- ・スピンオフ作品を読み合う。
- ・読んだ感想を述べたり、(1)～(4)の内容などについて質疑応答を行ったりする。
- ・『走れメロス』原作の主題について話し合う。

4 グループ間意見交流を行う。

- ・登場人物や主題について、グループ内意見交流での意見をまとめ、他のグループに説明する。

5 自分の考えをまとめる。

- ・自分の中学校生活を振り返るとともに、登場人物の考えや行動、作品の主題などから、六年生へのメッセージにつながるものを考える。

教師の支援

- ・できるだけ同じ登場人物でスピンオフ作品を書いている生徒同士でグループを構成しておき、自分の考えが深まるように配慮する。

- ・意見交流が円滑に活発に進むよう、(1)～(4)などについて、再度自分の考えをまとめておくように促す。

- ・(1)～(4)以外にも知りたいことがあったら質問するように促し、意見交流が活発になるよう支援する。
- ・自分の作品の構想や考えと比べながら、原作者の意図を推測するよう助言する。

- ・他のグループの意見を聞き、気付いたこと、考え直したいことに着目し、さらに自分の考えを深めることができるよう支援する。

- ・スピンオフ作品や意見交流を参考に、六年生に送るメッセージの見通しをもつよう助言する。

6 指導の実際

スピンオフ作品構想シート

「視点」「場面設定」「人物像設定」「共感できる・できない部分」「読む人に伝えたいメッセージ」

人物像設定 登場人物をどのように捉えるか

登場人物の行動の理由や出来事の因果関係を考える



文章を分析・解釈することにつながる

共感できる・できない部分 作品と自分を結び付けて解釈する

登場人物やその行動について納得・共感したり，疑問や批判が生じたりする

読む人に伝えたいメッセージ スピンオフ作品に自分の考えをまとめる

スピンオフ作品に自分の考えを組み込んでいく



自分の考えと比べながら，原作での筆者の意図や主題についても考える

意見交流会

生徒が書いたスピンオフ作品例

幼少期の私は弱虫で内気で友達の一人もいないような少年だった。あの日もいつものように私は周りの子どもたちにバカにされていた。...(中略)...「俺の名前はメロス！悪いことをするやつらは許さない！」それが私セリヌンティウスとメロスとの出会いであった。メロスは一人ぼっちだった私の無二の友になった。彼のおかげで強くなれたし、夢を見つけることもできた。彼がいたから今の自分がいるのだ。感謝してもしきれない。私は決めたのだ。助けられたあの日から何があっても彼を信じ続けると。...(中略)...彼、セリヌンティウスはまだ知らない。彼の決意が、彼らの絆が、人々を救いやがてこの国を素晴らしい国に変えることになるろうとは...

<意見交流会での発言>

「友達が自分の人生変える、自分の行動で周りの人を変えられる」

「暴君と言われたディオニスの最後の変化も、原作の主題になっているのではないか」

<六年生へのメッセージ>

「いじめのないみんなが生き生きできる学校にしたい」

「一人ひとりの行動が、学校を変えていきます」

その他の生徒

<意見交流会での発言>

「主題は最後まであきらめないことの大切さである」

<六年生へのメッセージ>

「何かにチャレンジする時には最後まであきらめないことが大切。特に部活動を続ける上では常に忘れてはいけないこと」

<意見交流会での発言>

「主題は人を決めつけて判断しないことである」

<六年生へのメッセージ>

「その人の行動や性格について悪口を言う前に、何かあったのかな、と考えてあげることも大切。決めつけることは人間関係のトラブルの元になる」

7 終わりに

成果

○作品の内容を自分のこれまでの**中学校生活と関連付けて**解釈することができた。

○自分の考えを表現する**実の場**の存在によって、相手意識・目的意識をもって主体的に「読むこと」の学習に取り組むことができた。

○自分の考えをスピンオフ作品に書くことの**楽しさ**、交流によって見つけた**驚き**、自分の考えを伝えることや相手の役に立つことの**喜び**などを、「読解リテラシー」のプロセスを意識した単元展開の中で生徒自身が実感できた。

課題

生徒の振り返り

- 「意見交流会ではたくさんの人の作品が読めたし、同じ人物についての作品でも考え方が自分と違っている部分があって、なるほどと思いました。」

「『走れメロス』から「友達との絆」「友情の大切さ」などのヒントを見つけて、六年生へのメッセージもみんなと話し合って考えることができました。六年生が真剣に聞いてくれたので良かったです。」

自分たちのメッセージが、六年生にどのように、どれだけ伝わったかの記述がほとんどない

○次への学習への意欲につなげる為に、六年生にアンケートを実施するなどして、**自分たちの学習の成果を分析したり、評価したりする**場面を充実させる必要がある。

課題を自分自身で見つけ、課題を探究しようとする態度につなげる



ご清聴ありがとうございました。